

単位数	2	学科（型） 学年	機械科 1 年	教科書 副教材等	工業技術基礎（実教出版） 自作テキスト
学習目標		工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、工業に関する広い視野と倫理観を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を身に付ける。			
班	学習内容			学習のねらい	
1	1 測定実習 測定の基礎知識 測定器の使用方法和測定実習 アナログ式回路計と測定			・ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージなどの構造と原理について理解する。 ・測定実習を通して、各種測定器の使用方法を習得する。 ・アナログ式回路計を使った各種測定を行い、測定技能を習得する。	
2	2 溶接実習 アーク溶接実習 ガス切断実習			・アーク溶接装置の取り扱いと操作の基本を学び、アーク溶接作業の技能を習得する。 ・ガス溶接装置の取り扱いと操作の基本を学び、ガス切断作業の技能を習得する。	
3	3 手仕上げ実習 手仕上げの基礎知識 文鎮の製作			・けがき、切断、やすり仕上げ、穴あけ、ねじ切りの基礎知識と各種工具の使用方法を習得する。 ・文鎮の製作実習を通して、手仕上げの技能を習得する。	
4	4 旋盤実習 構造と基本操作 段付丸棒の製作			・旋盤の基礎知識について学び、バイトの取り付け、機械の基本操作について習得する。 ・段付丸棒の製作実習を通して、要素作業の基本的な技能を習得する。	
評価の観点			内 容		
知識・技術			・工業の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境にも配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けている。工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。		
思考・判断・表現			・工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。		
主体的に学習に取り組む態度			・工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身に付けている。		
評価方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価します。 定期考査は実施しませんが、製作実習での技能・技術の習得度、学習内容の理解度、定着度を評価します。 また、作品のできばえやレポートの内容について評価しますが、完成した作品のみでなく、作業過程における取り組み状況や作業成果を総合的に評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 実習は作業を通しての学習が中心となりますが、テキスト等をよく読んで予習をしましょう。 ○ 自主的に学習する態度で臨み、班員と協力しましょう。 ○ 安全作業のために、真剣な気持ちと規律ある行動で臨みましょう。 ○ 作品やレポートの提出期日は必ず守りましょう。 ○ 実習班は、1 班が 3 ～ 4 名で構成され、1 年間で上記テーマの実習をローテーション（2 時間× 4 週）で行います。					